

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No. 7



自分で考え 力を合わせ
夢に向かって 最後まで

福島市小学校陸上競技大会で活躍

10月4日（水）福島市信夫ヶ丘陸上競技場で福島市小学校陸上競技大会が行われました。本校からは5・6年生の代表選手18名が参加し、自己ベストを目指しました。選手以外の5・6年生も会場へ行き仲間のがんばりを応援しました。子供たちは日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい成績をあげました。平日にもかかわらず多くの保護者の皆様が応援に駆けつけてくださりありがとうございました。

入賞者を紹介します。10月12日（木）の全校集会で表彰式を行いました。

○女子ボール投げ

2位 5年 野地 菜那（記録 37m97）

○男子100m走

2位 6年 鈴木 諒人（記録 14秒19）

6位 5年 菅野 大樹（記録 15秒05）

○男子80mハートル

7位 6年 穴戸 太星（記録 16秒60）

○男子400mリレー

6位 6年 穴戸 太星 5年 菅野 大樹

6年 小林 亮太 6年 鈴木 諒人

（記録 1分06秒27）



リレー決勝の様子（外側8コース）

体力づくりがんばってます

スポーツの秋です。子供たちは、毎日2時間目の休み時間に校庭に出て元気にいっぱい走って体力づくりをがんばっています。

また、11月2日（木）には校内持久走記録会が行われます。目標達成に向けて練習中です。記録会には平田幼稚園の園児も参加します。どうぞ子どもたちのがんばりを応援ください。



休み時間の「走れ走れタイム」の様子

特集 信夫中学校区学校保健委員会より ～「ゲーム脳」ってこわい!～

9月19日(火)、大森小体育館を会場に信夫中学校区内の小中学校教員と保護者の方が集まり地区学校保健委員会が開催されました。講師に仙台市内の国立病院でメディア(スマホやTVゲーム等)と脳への影響について治療・研究を行っている田澤雄作先生をお招きし講話をいただきました。その中で、とてもこわい脳への影響について具体的な事例やデータをもとにお話がありました。概要は以下の通りです。

- ① ゲーム等を長時間続けると、思考・判断を司る脳が育たず正しい判断ができず衝動的な問題行動が増える。笑顔が消える。
- ② 上記のような脳は、麻薬患者の脳と似た状態となる。(顔の表情も似てくる)
- ③ 親の注意に対して、感情的になり暴力的な行動が増える。
- ④ 親が我が子のあまりのひどさ(話を聞かない、集中力がない、昼夜逆転生活等)に医療機関へ相談にくるが、ほとんどの子がゲーム等を長時間続けて起こるゲーム脳による悪影響が原因である。
- ⑤ ゲーム脳の治療は、ゲームをやめさせるしかない。1週間ゲームをやめた子どもは表情に明るさが増し、生活習慣も改善が見られた。
- ⑥ ゲーム脳にならないためには、1日1時間以上はゲームをしないこと。

これ以外にも子育てとスマホの関わりの問題等について話がありました。出席者からは、「ゲームやスマホの使い方・与え方について考え直したい」という言葉が多数ありました。これからのメディアとの関わりについて大きな示唆をいただきました。



これからの主な行事予定

- | | |
|--------|----------------------------|
| 10月28日 | 土曜授業 学習発表会
PTAバザー |
| 11月 1日 | ふくしま教育の日・教育週間～7日
フリー参観1 |
| 2日 | フリー参観2
持久走記録会 |
| 5日 | PTA廃品回収 |
| 8日 | 鑑賞教室 |
| 9日 | 県学力調査(5年) |
| 11日 | 市家庭バレーボール大会～12日 |
| 20日 | お弁当の日 |
| 25日 | 土曜授業 祖父母活動 |

学習発表会へご家族揃ってどうぞおいでください。

日時：10月28日(土)
午前8時30分開演

場所：平田小学校体育館

下足用ビニール袋を持参願います